

コヒロハハナヤスリ

Ophioglossum petiolatum Hook.

ハナヤスリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

分布域は広いが個体数が少ない。(現況:R-)

形態

葉は2形あり、栄養葉は広卵形または長楕円形、葉の基部は急に細くなり、葉柄のあるものが多い。孢子葉は葉柄基部からでる。上部は孢子囊穂になり、基部以下は共通柄になる。

国内分布

本州、四国、九州、小笠原島。

県内分布

中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

夏緑性の地中植物で、繁殖は根にある不定芽と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

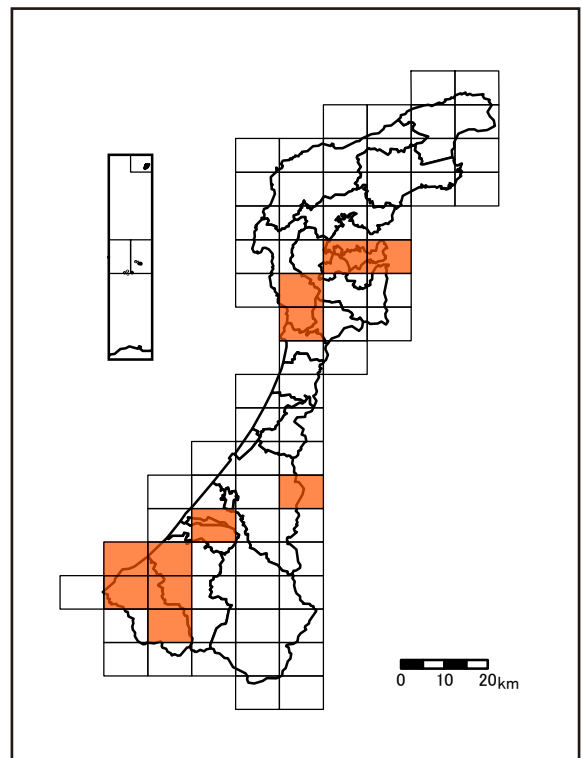
境内、野原、路傍、墓地、庭園などに生育する。

危険要因

踏みつけ、管理放棄、自然遷移、産地局限、その他(除草剤使用)。



林 二良・2006年5月31日・中能登



県内の分布